

清水三男 しみず さんお 日本史學者。明治四十一年十一月京都市生れ、昭和二十一年一月二十七日歿（一九九一―四七）。京都帝國大學史學科卒。唯物史觀を以て日本中世史の取組み、東寺領の個別莊園を研究。昭和十二年史籍整理會事件に連坐。『素拙祖國の歴史―附演伎小史』（昭和十八年十月十日京都・星野書店）書下し首後召集せられ、シベリヤ抑留中病死した。

